

CMV-IgG 抗体				2270100	
				担当部署	
CMVIgG				生化	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項			特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→感染症・ウイルス→サイトメガロ・E B→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報			特記事項なし		
検査受付時間			8 : 15～16 : 00		
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項			特記事項なし		
検体採取の特別なタイミング			特記事項なし		
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件			室温		
検体受入不可基準			1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体		
保管検体の保存期間			冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)		
検査結果・報告					

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		当日中～翌日				
生物学的基準範囲		設定なし				
臨床判断値		6.0 AU/mL 未満の検体は、IgG 型 CMV 抗体陰性と判定する。 6.0 AU/mL 以上の検体は、IgG 型 CMV 抗体陽性と判定する。 CMV-G・アボット試薬添付文書				
基準値					単位	AU/mL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
0	5.9	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値		高値	設定なし			
		低値	設定なし			
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		サイトメガロウイルス(CMV)はβヒトヘルペスウイルス科に属する正 20 面体の DNA ウイルスで広くヒトの間に分布し、不顕性で感染している場合が多い。 先天性感染は 0.5～1%の新生児におこり、症状としては肝・脾の腫大、黄疸、血小板減少難聴などがある。周産期に感染すると生後 2～3 ヶ月に先天性感染と似た症状を呈する。 CMV は他のヘルペスウイルスと同様に体内に潜伏感染して、宿主の免疫力が低下すると再活性化する。特に臓器移植後の免疫抑制剤投与による細胞性免疫の低下によっておこる CMV 感染は初感染と再感染の場合がある。 三菱化学メディエンス 検査項目解説 改訂第 4 版 326				